

業務改善を通して目指す学校像

子どもとじっくり向き合える学校

放課後業務の削減による時間の創出

- 諸表簿の電子化
- 留守番電話の導入
- 集中タイムの導入
- 年間行事の見直し

・業務アシスタントの活用
・学校行事の見直し

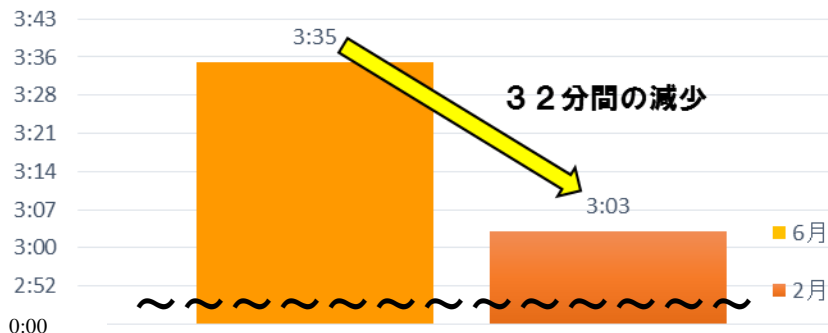
働き方に対する教職員の意識改革

- カエル会議の実践
- 退勤目標時刻の設定
- 環境整備（職員室のレイアウト）
- 会議や打ち合わせの時間短縮



カエル宣言

平日の時間外平均在校時間



※平成30年度は、前年度と同時期の数値比較を予定

| 質問内容 | 第1回 | 第2回 |
|-------------------------|-------|-------|
| 教員として自分の能力をさらに向上させようと思う | 87.5% | 96.1% |
| 読書・セミナー等、自己研鑽をしている | 50.0% | 53.9% |
| 子供と向き合う時間の確保が十分されている。 | 37.5% | 65.3% |
| 教材研究や授業準備に必要な時間が取れている | 12.5% | 42.3% |

教職員対象アンケート調査より（平成29年6月・平成30年2月実施）

※本アンケートは4件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

業務アシスタントの活用により、教職員の事務負担の軽減が図られ、平日の時間外在校時間の減少へつながった。

カエル会議の実施により、教職員の業務の在り方に対する目的意識が高まり、ゆとりを持って子どもと向き合えるようになった。

業務改善を通して目指す学校像

子どもと向き合える学校

～生徒指導力の向上による生徒の自治力アップ～

日常業務の軽減

- 諸表簿の電子化
- 留守番電話の導入
- 部活動の見直し
- 環境整備(机上整理・保管場所の整理)

・業務アシスタントの活用

働き方に対する課題把握

- カエル会議の実践
- 職員会議、朝の打ち合わせの簡略化
- 教材の共有化

平日の時間外平均在校時間



※平成30年度は、前年度と同時期の数値比較を予定

| 質問内容 | 第1回 | 第2回 |
|---------------------------|-------|-------|
| 文書などの情報を電子化し、職員間で共有できている。 | 59.0% | 74.4% |
| 会議の効率化が図られている。 | 33.3% | 71.8% |
| 子供と向き合う時間の確保が十分されている | 35.9% | 41.0% |
| 教材研究や授業準備に必要な時間が取れている | 31.6% | 53.9% |

教職員対象アンケート調査より (平成29年7月・平成30年2月実施)

※本アンケートは4件法で行い、「あてはまる」、「少しあてはまる」という回答をまとめている。

業務アシスタントの活用により、教職員の事務負担の軽減が図られ、平日の時間外在校時間の減少へつながった。

カエル会議の実施により、教職員の業務の在り方に対する課題意識が高まり、課題解決に向け学校全体で行動できるようになった。